

第61回熊本県農業コンクール「農業革新！新たな一歩～」 将来見据え！『効率』、『先進』

新人王部門 秀賞に株式会社 ながまつファーム 永松克美氏 (JA菊池 泗水中央支所)

このたび、コロナ禍において開催が危ぶまれた第61回熊本県農業コンクール大会が開催され、本年度も、県内各地域よりコンペ部門として(公募)33点(経営体部門に11点、新人王部門に11点、地域農力部門に11点)のノミネートがありました。

その中で、新人王部門において、秀賞及び農林水産大臣賞に株式会社ながまつファーム 代表 永松克美(ながまつ かつみ)氏が受賞されました。

現在の経営規模は、搾乳牛93頭、自給飼料面積(トウモロコシ・イタリアン・稲WCS)計13.5haです。



新人王部門の審査基準は、自らの目標のもとに経営・生産技術の改善に意欲的に取り組み、次世代を担う者として地域の振興発展に寄与している就農後おおむね8年以内の農業者又は農業を営む法人を表彰するものです。

※受賞者の特徴

株式会社ながまつファーム 永松克美氏の特徴は、前職(全酪連)勤務時に地元根差す仕事への魅力を感じ始め、父親の大怪我をきっかけに地

域からの助力を実感され、平成24年に親元へ就農されました。

酪農ヘルパーに同行し、技術向上と経営を学び、規模拡大を決意され、平成28年4月にフリーストール、ミルクングパーラー体系の牛舎を建築されました。

新牛舎稼働初日に熊本地震前震が発生した際、被災した農家2戸に対し、即座に牛舎貸出や牛を受け入れるなどの復旧に支援されました。

平成31年1月、経営移譲とともに法人化し、名実ともに経営者となられています。

飼養管理において、搾乳期以外の牛の管理がもっとも重要と捉え、牛が完璧な状態で搾乳期に入るため、事故が少なく以後の回復が早いことや、牛群の能力構成の分析に基づいた交配で改良をされています。さらに、自家育成牛をしっかり確保し、目先の利益にとらわれない将来を見据えた経営を実践されています。

また、平成31年度九販連生乳品質共励会にて優良賞を受賞されるなど、一頭当たりの年間生産量は、県平均と比べ約530kg多い10,112kg/年です。



旧牛舎を増築し牛の管理を見える化に

※受賞にあたり高く評価された点

1点目が、親元就農ですが、全酪連勤務の経験をもとに優れた経営感覚を身に付けていたことで、就農後即座に経営者となると規模拡大を図ると同時に、法人化を行い、地域のコントラクター組織とも主体的に連携し、地域全体の酪農等の活性化に貢献されていることです。

2点目が、個人的に酪農ヘルパーに同行することで様々な酪農家の事例を研究し、自身の技術向上を図り、経営に生かすなど、就農直後から自ら経営を背負う意識の高さがあったことです。

3点目が、スマート農業を導入していますが、費用対効果を研究して自分の経営にあったものだけを選択して導入し、直接の観察との相乗効果により牛群の成績が非常に高い点です。

また、牛の管理も細かく月齢ごとに牛房を分けることで、観察、管理は従業員が誰でも分かりやすいように見える化されています。

4点目が、熊本地震で被災した酪農家の牛の受入れや、民間企業の研修生の受け入れなど、積極的に社会貢献に関わり、外国人実習生の生活環境も施設整備するなど、配慮されていることです。

5点目が、将来ビジョンについて、経営の規模、TMRセンターの設立など具体的に想定される問題も含めて考えていることから、その計画は実行性と説得力があることです。

※今後の期待

永松氏のスマート農業技術を活用した省力化、効率化の取組は、今後の酪農就農における優良なモデルとして期待されています。

新人王部門 秀賞及び農林水産大臣賞の受賞、誠におめでとうございます。

なお、大会表彰式は、1月29日に計画されましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発令に伴い、3月26日に延期され実施される予定です。



株式会社ながまつファーム スタッフの皆さん

冬場の子牛管理について

生産本部 営農指導課 作村 勇季

冬になると現場では、子牛の下痢に関する相談をよく受けます。特に冬場の子牛の下痢症は、環境要因によるストレスも複合的に関わって発症するため、予防対策に目を向ける必要があります。下痢の予防対策を含めた、冬場の子牛管理に関する基本的なポイントをいくつか紹介します。

【冬場の子牛発育に影響するポイント】

●牛・人・物による病原体の持ち込みを防ぐ

施設や哺乳用具の洗浄・消毒を徹底しましょう。また、生後間もない時期は、ハッチやペン等で個別管理し、できるだけ他の子牛との接触をさせないことが大切です。哺育スペースに消毒槽を置くなど、防疫対策にも目を向けましょう。

●新生子牛の管理

生後直後は、体をすぐに乾かし、寒さの影響を減らしましょう。へその消毒を行い、続いて初乳を迅速かつ十分に飲ませましょう。初乳には免疫グロブリンなどの供給のみならず、腸管粘膜を保護する作用があり、感染性の下痢対策の要になります。また、移行抗体の吸収は、時間が経つにつれ減っていくので、いかに早く飲ませるかが重要です。グッドスタートプレミアム（全酪連）等の市販の初乳製剤の活用もお勧めです。

●エネルギーを充足させる

冬場には、基礎代謝を上げるためにエネルギー要求量が増えます。哺乳量を増やす、脂肪分割合の高い代用乳を利用するなどエネルギー要求を満たす必要があります。

写真①

●**清潔な水、スターターの給与**

水は最も重要です。冬場はぬるま湯を与えましょう。また、食道溝反射による第四胃への水の流入を防ぐため、水の給与はミルク給与後30分～1時間は時間を空けましょう。スターターは第一胃を発達させる以外にも、敷料などの盗食の防止にも役立ちます。(写



真①)

●乾いた十分な敷料

敷料が糞尿で汚れたままだと、菌の温床になったり、冬は子牛の体温を奪う原因にもなるのでこまめな掃除、交換を行いましょう。

●寒冷ストレスから守る

子牛は被毛が細く、皮下脂肪も少ないので、特に寒冷ストレスには敏感です。この時期にコンクリートの上で飼養する場合は、ゴムマット等を敷き、底冷えから子牛を守りましょう。床が冷えている状況では、子牛の腹毛が伸びてきますので



ご確認を。さらにビニールシート等を活用し、換気をしながら、子牛を冷たい風から守ることも重要です。(写真②、③)

そして、ヒーターやカーブジャケット



を活用し、寒冷ストレスを出来るだけ和らげましょう。人間用のネックウォーマーや古着を活用している農場もあります。(写真④)



以上のような基本的なポイントを押さえ、冬場の子牛の発育パフォーマンスを最大限引き出せるような管理を目指しましょう。ご相談等ございましたら営農指導課作村まで。

TEL 096-388-3510

令和2年7月豪雨災害支援に対するくまモンのお礼訪問

昨年7月に発生した豪雨は九州、中部、東北地方をはじめ各地で記録的な雨量を観測し、中でも熊本県は県南地域を中心に多くの人命や家屋への被害のほか、ライフライン、地域産業等へ未曾有の被害を受け、1日でも早い復旧・復興が求められています。幸い酪農関係者の人的被害はありませんでしたが、畜舎や機械、飼料等への浸水被害も多数確認されました。

これをうけ、日頃より牛乳・乳製品の消費を通じて酪農を応援して頂いている消費者への感謝と被災者の復興への支援となるよう、8月に県内酪農家一同より熊本県酪農政治連盟を通して熊本県へ義援金100万円が贈呈されました。また県酪

連としても被災地へLL牛乳200mlを提供するなど、支援活動に努めてまいりました。

県では、現在災害支援に対するお礼として、営業部長兼しあわせ部長であるくまモンによる支援企業団体への表敬活動が行われており、この度らくまモンのマザーズ本会へ来会されました。くまモンより県内酪農家を代表し隈部会長と名刺交換の後、お礼の色紙が贈呈され、被災地支援への感謝の気持ちを込めてダンスの披露がありました。

改めて県内酪農家の皆様のお気持ちとご協力に感謝申し上げるとともに、謹んでご報告申し上げます。



県下酪農家より熊本県へ義援金贈呈（令和2年8月）



お礼色紙の贈呈



元気いっぱい踊るくまモン



役職員一同と記念撮影

©2010熊本県くまモン

採卵に適した季節

生産本部 技術課 本田 望

採卵を行う際は、出来るだけ多くの正常受精卵を回収したいと考えるはずですが、様々な添加剤を与えたり、暑い日には水を掛けたり、あの手この手で採取個数や受精卵の品質を改善しようと手を尽くします。しかし、夏の暑さや冬の寒さ、季節の変化に対して出来ることは限られており、人の力には限界があります。それでも、具体的な受精卵の増減数が分かれば対策を立てることが出来ると思います。そこで、今回は1月から12月の受精卵の採取個数や正常卵数が具体的にどのくらい増減しているのか表にまとめてみました。

平成28年から令和2年までの5年間で行った採卵成績を集計し、黒毛和種、ホルスタインの経産および未経産の成績をそれぞれにまとめました。黒毛和種は通常精液、ホルスタインの経産および未経産は性選別精液を使用したものだけを用いました。Aランク、BランクとCランクなど移植に使用できるものを正常卵、変性と未受精卵を変性卵に分け、さらに、正常卵率、平均採取個数と平均正常卵数を表して比較しました。また、過剰排卵処理に反応しなかった牛はデータから除外しました。

図1 平成28年から令和2年の採卵成績

	採卵頭数	正常卵	変性卵	回収総数	正常卵率	平均採取個数	平均正常卵数
黒毛和種	412	3370	2917	6287	53.6	15.3	8.2
ホル 経産	128	576	890	1466	39.3	11.5	4.5
ホル 未経産	116	732	658	1390	52.7	12.0	6.3

(図1)は平成28年から令和2年の採卵成績をまとめたものです。黒毛和種が正常卵率、採卵1回あたりの平均採取個数および平均正常卵数が最も高く、次にホルスタインの未経産が高い結果となりました。

図2 黒毛和種の1月から12月の採卵成績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
正常卵	171	292	343	346	338	412	274	126	104	322	313	329
変性卵	219	170	214	293	388	304	178	140	144	214	237	416
回収総数	390	462	557	639	726	716	452	266	248	536	550	745
採卵頭数	24	34	35	42	40	50	31	20	22	33	36	45
正常卵率	43.8	63.2	61.6	54.1	46.6	57.5	60.6	47.4	41.9	60.1	56.9	44.2
平均採取個数	16.3	13.6	15.9	15.2	18.2	14.3	14.6	13.3	11.3	16.2	15.3	16.6
平均正常卵数	7.1	8.6	9.8	8.2	8.5	8.2	8.8	6.3	4.7	9.8	8.7	7.3

図3 ホルスタインの経産の1月から12月の採卵成績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
正常卵	34	106	62	43	63	35	9	1	10	63	83	67
変性卵	76	109	117	119	39	20	70	49	7	56	158	70
回収総数	110	215	179	162	102	55	79	50	17	119	241	137
採卵頭数	12	17	14	14	12	7	7	4	2	7	21	11
正常卵率	30.9	49.3	34.6	26.5	61.8	63.6	11.4	2.0	58.8	52.9	34.4	48.9
平均採取個数	9.2	12.6	12.8	11.6	8.5	7.9	11.3	12.5	8.5	17.0	11.5	12.5
平均正常卵数	2.8	6.2	4.4	3.1	5.3	5.0	1.3	0.3	5.0	9.0	4.0	6.1

図4 ホルスタインの未経産の1月から12月の採卵成績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
正常卵	68	98	90	24	100	115	49	18	29	24	48	69
変性卵	60	84	69	17	97	63	81	18	32	39	32	66
回収総数	128	182	159	41	197	178	130	36	61	63	80	135
採卵頭数	9	16	13	4	14	14	9	4	6	7	9	11
正常卵率	53.1	53.8	56.6	58.5	50.8	64.6	37.7	50.0	47.5	38.1	60.0	51.1
平均採取個数	14.2	11.4	12.2	10.3	14.1	12.7	14.4	9.0	10.2	9.0	8.9	12.3
平均正常卵数	7.6	6.1	6.9	6.0	7.1	8.2	5.4	4.5	4.8	3.4	5.3	6.3

(図2)、(図3) および (図4) は1月から12月の各品種の採卵結果をまとめたものです。黒毛和種は1月と12月に成績の低下が若干見られ、どの品種も8月から9月で採取個数および正常卵数が低下している傾向にあります。特にホルスタインの経産の低下が顕著です。

月齢や空胎日数を考慮すると、採卵を行う時期を選ぶことは非常に困難です。また、ホルスタインの経産は夏季に採取個数の低下が顕著なため、夏季での採卵は非常に厳しいと考えられます。しかし、黒毛和種とホルスタインの未経産は、季節間の採取個数と正常卵数にホルスタインの経産ほどの大きな差はありません。しっかり暑熱対策を行えば、夏季での採卵も難しくないと考えられます。

2月から6月にかけて黒毛和種およびホルスタインの採卵で、多くの受精卵を回収できる可能性があります。ドナー牛のタイミングが良ければこのシーズンに採卵することをお勧めします。2月から6月にかけて受精卵を確保し、夏季の移植の受胎率改善の足掛かりにしてください。



COLUMN — コラム —

「不文律は“粹”に」

今年“丑年”我々の年です。その輝かしい年のスタートが、コロナの影響でこのような形になるうとは、みなさん予想もしていなかったことでしょう。年末年始は声高に外出自粛を呼び掛けていましたが、若者を中心に人出は減らず「緊急事態宣言」が出されるなど、不安は増すばかりとなりました。

なぜ人出が減らなかったのか、コロナ慣れだとも言われていますが、自粛の呼びかけだけではなかなか効果が上がらないみたいです。それは、法律のように明文化された規則なら人々の解釈の余地も狭まりますが、自粛のような「不文律」(明文化されていない規則)では、人それぞれが抱く内容にかなりのズレが生じるからではないでしょうか。

このような「不文律」は、社会のいたるところに存在しますが、各人の解釈の違いにより“粹”な立ち振る舞いになったり、“野暮”な行動になったりします。スポーツの世界では、公式ルールではないものの、スポーツマンシップや礼節を重んじるために慣習的に行われているみたいです。たとえば野球では、大量リードの状況ではバントや盗塁をしないとか、これみよがしのガッツポーズはダメとか、戦いのなかにも、相手のメンツを保つ礼儀が必要ということでしょう。たまに、ルールに明文化すればとの声も聞かれますが、それは“野暮”というものです。

私のかじった剣道にも大きな「不文律」があります。それは一本取った後の「ガッツポーズ」です。ほとんどの場合一本が取り消されます。剣道は礼節を重んじますので、ガッツポーズは相手への敬意のない礼節に欠けた行為と見なされるため、剣道では一本が無効になるのです。実は小さいころ先生から「柔道や相撲は、誰もガッツポーズせんどがあ」と習いましたが、大きくなって柔ちゃんや朝青龍がやっているのを目にしました。

その先生はもういませんが、このことを先生に聞いてみたいと思うのは「野暮」なことです。

去年は、宝塚音楽学校の「不文律」が問題になりました。阪急電車にはお辞儀をするとか、廊下は端を歩き直角に曲がる、また新入生の服装から先輩への厳しすぎる服従など、時代錯誤の「不文律」が、生徒の健康被害がでてやっと改善がなされました。

もちろん企業にも「不文律」は存在します。らくのうマザーズは「ブライ企業」なので心配りませんが、よく耳にするのは、上司が帰るまで帰られないとか、有給休暇を取得しづらいなど、従業員を悩ませています。悪いものは改善すればよいのですが、これまでの企業独自の根強い習慣はなかなか改善しづらいものです。それがこの一年、このコロナ禍で一気に改善が進んでいます。テレワークの普及により働く「場所」と「時間」の概念が大きく変わり、生産性を重視した考え方が主流となり、これまでの企業の習慣が一変しています。しかし、どの企業もこれに対する規則の制定が間に合っていない状況ですので、そこは、みんなの幸せのために“粹”な「不文律」で乗り越えていきたいものです。

「不文律」によらず何事も規則で決めるのは簡単ですが、ルールで縛られなければ何でもやりかねないというのは“野暮”ですし、他者への思いやりから生ずるはずの“粹”な立ち振る舞いも、単なる順法精神の結果なのかと味気なくなります。決め事によらず、良心やプライドで自分を律することができるかどうか、そこが“粹”と“野暮”の分かれ道みたいです。

我々の「丑年」が輝かしい年になりますよう、一日も早いコロナの終息を願い、“粹”に過ごして参りましょう。



熊本県酪農業協同組合連合会
代表理事常務 大川 清治

酪政連だより

第49回衆議院議員総選挙 推薦候補者の決定

熊本県酪農政治連盟では、今秋の任期満了または衆議院解散に伴い実施予定の第49回衆議院議員総選挙について、12月25日開催の常任委員会において、下記の通り推薦候補者を決定致しました。新型コロナウイルス感染症の拡大が続き、政局も支持率低迷とともに不安定な状況の下、今後の動向に注意が必要です。酪政連としましては、酪農業の安定・発展にご尽力頂くため政策協定書を締結し、候補者の当選に向けた応援活動に取り組んで参ります。

つきましては、皆様の候補者への積極的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

熊本県酪農政治連盟 推薦候補者

選挙区	候補者名	区分
熊本1区	木原 稔	推薦
熊本2区	野田 毅	推薦
熊本3区	坂本 哲志	推薦
熊本4区	金子 恭之	推薦



令和2年度後期牛群審査・体型調査・ロボット調査報告

優良牛1,664頭の審査結果から

一般社団法人 日本ホルスタイン登録協会 審査委員 池田 泰男

向寒の11月30日(月)から年の瀬迫る12月25日(土)までの26日間、令和2年度後期牛群審査並びに後代検定体型調査・ロボット調査を実施しました。前回は25年後期に伺っていますのでちょうど7年ぶり、少し間隔が空いてしまいました。

本年度においては、新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年であり、現在も厳しい状況は続いています。酪農業界でも影響は大きく、需給は大混乱、皆様方の業務においても窮屈でストレスの溜まる日々を過ごしているかと思えます。

初めて経験するコロナ禍では、どのような影響があるか不透明なことと、蔓延を防ぐため前期の審査は中止させていただき、その後、少しずつではありますが、コロナの状況・対策等が判明したことから、出来る限りの対策を講じて、後期の審査を実施させていただきました。

さて、今回の審査・調査実績は表1のとおりで、牛群審査38戸609頭、奨励審査3戸13頭、合計622頭を審査。後代検定娘牛と同期牛を調査する体型調査は84戸989頭、搾乳ロボット適合性調査が3戸53頭、総合計で1,664頭の審査・調査を実施しました。

表1 熊本県における審査・調査実施状況 (ホルスタイン種)

年度	牛群・奨励審査				後代検定調査				歩様・ロボット調査		総合計頭数	平均得点
	戸数	頭数	奨励	合計	戸数	材料	同期	合計	戸数	頭数		
23	56	592	58	650	234	451	1,149	1,600			2,250	80.83
24	67	742	80	822	182	366	1,037	1,403			2,225	81.29
25	76	873	75	948	185	390	993	1,383			2,331	81.66
26	77	1,027	77	1,104	164	352	940	1,292			2,396	80.83
27	78	943	56	999	158	323	732	1,055			2,054	80.83
28	57	777	28	805	125	267	547	814			1,619	82.17
29	75	872	70	942	162	308	678	986	35	250	2,178	82.17
30	79	1,053	48	1,101	174	345	854	1,199	71	672	2,972	81.85
元	69	866	74	940	180	336	747	1,083	82	820	2,843	81.99
2	38	609	13	622	84	182	807	989	3	53	1,664	81.60

前年同期と比較すると、牛群審査頭数が増え+185頭、奨励審査が若干減少△24頭、合計すると161頭の増加となりました。後代検定の体型調査では、全国的に前期の審査を中止となり、年間の計画頭数を大幅に下回っていることから、各都府県の割当て(計画頭数)を撤廃し、酪農家が協力可能な限りの頭数を調査させていただきました。その結果前年同期より+249頭、年間計画の89.9%を消化することが出来ました。前期が中止になっていることを考えると、皆様のご協力により好結果を得ることができました。

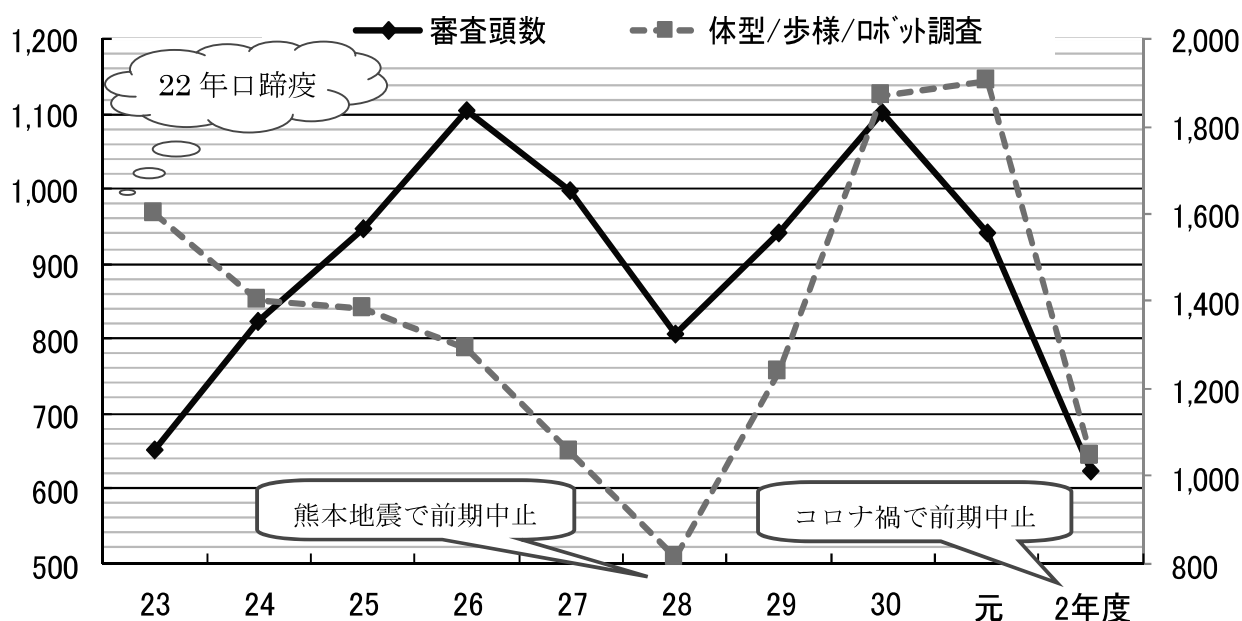
また、29年度後期から開始された歩様調査(歩様と長命連産性との関係を調査)は、昨年度で終了し、新たに搾乳ロボット適合性調査事業(寛幅・乳房底面の線形形質を追加し、初産から3産までの体型調査並びに聞き取り調査を実施。ロボット搾乳適合指数を開発する)をスタートしましたがこちらは3戸53頭、計画の53%を消化しました。

審査・調査頭数の推移 (表1・図1)

10年前の平成23年度からの審査頭数と体型調査／歩様／ロボット調査頭数の推移をみると、審査頭数は26年度まで順調に伸び、その後少し減少。28年4月14・16日には痛ましい災害、熊本地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。状況を踏まえ前期の審査・調査は中止となりましたが、皆様の努力とご協力で災害の爪痕が残る中、後期を実施することが出来ました。29年30年と順調に回復基調でしたが、令和元年には少し減少し、今年度はコロナ禍で前期は中止、後期だけの実績となりました。

調査関係 (体型調査・歩様調査・ロボット調査) はやや減少傾向でしたが、29年度からV字回復、30年と元年には3月に追加調査も実施したことから大幅に頭数を伸ばすことが出来ました。今年度も更なる伸びを期待しましたが、予期せぬことで足止めとなりました。

図1 年度別審査頭数並びに体型調査／歩様調査／ロボット調査頭数の推移



得点の分布 (図2)

さて、今回の審査では、90点以上のEX (エクセレント) 牛として評価したのは21頭。新規誕生が10頭、2E (2回目のEX) が8頭 (更新4頭、同点4頭)、3E 1頭 (更新1頭)、4E 2頭 (更新1頭、同点1頭) でした。

なかでも、合志市の松野佑哉牧場の「ドリーム・デリア・プリテイ・ミカコ」(6歳9ヵ月・父マツカチエン) は7月に5産を分娩。乳用強健性に優れ、中躯が充実した体貌と骨格を持ち、特に乳房の形状と質に富んだ素晴らしい成牛でしたので92点 (乳器92点) と評価しました。2019年第7回九州連合では、第12部RCに輝いています。3産で90点、4産91点、そして5産92点と体型の崩れは無く、円熟味を増して確実に点数を伸ばしています。更なる更新を期待します。

合志市の松島太一牧場の「キージヤスト・DO・IT・アトウッド・ラブリー」(3歳9ヵ月・父アトウッド) 2月に2産を分娩した泌乳末期の若牛でしたが、コンディションは良好で、肋骨の開帳・方向性が良いなど乳用強健性に優れ、後乳房の幅は広く、乳房底面の高い素晴らしい乳器を備えていたので、88点 (乳器88点) と評価しました。

同じく、錦町の(株)有田牧場の「ウエダファーム・クラツシユ・トニー・ビューティー」(3歳9ヵ月・父クラツシユ) も3月に2産を分娩していましたが、こちらも状態が良く、体貌の高さ・深さ・長さのバランスに優れ、座骨の幅は広く、腰角と適正な角度を保つ尻を備え、前乳器の付着は強く、後乳房の

幅が広く、乳房底面も高い理想の乳器を備えていたので、88点（乳器88点）と評価しました。なお、本牛は2019年の第7回九州連合で第8部C並びにRIMCに輝いた功績もありました。

初産牛にも優良若牛が勢ぞろいでした。合志市の新永文治牧場の「グランデール・モンレー・デリア」（2歳10ヵ月・父モンレー）7月に初産を分娩しています。全体のバランスが良く、若雌牛らしい品位と優雅さを備え、適正な肢蹄、前乳房の付着が強く、後乳房の付着は高く幅広い上、乳房底面も高いなど、素晴らしい体貌と肢蹄並びに乳器を備えていたことから85点（乳器85点）と評価しました。更なる飛躍を期待します。

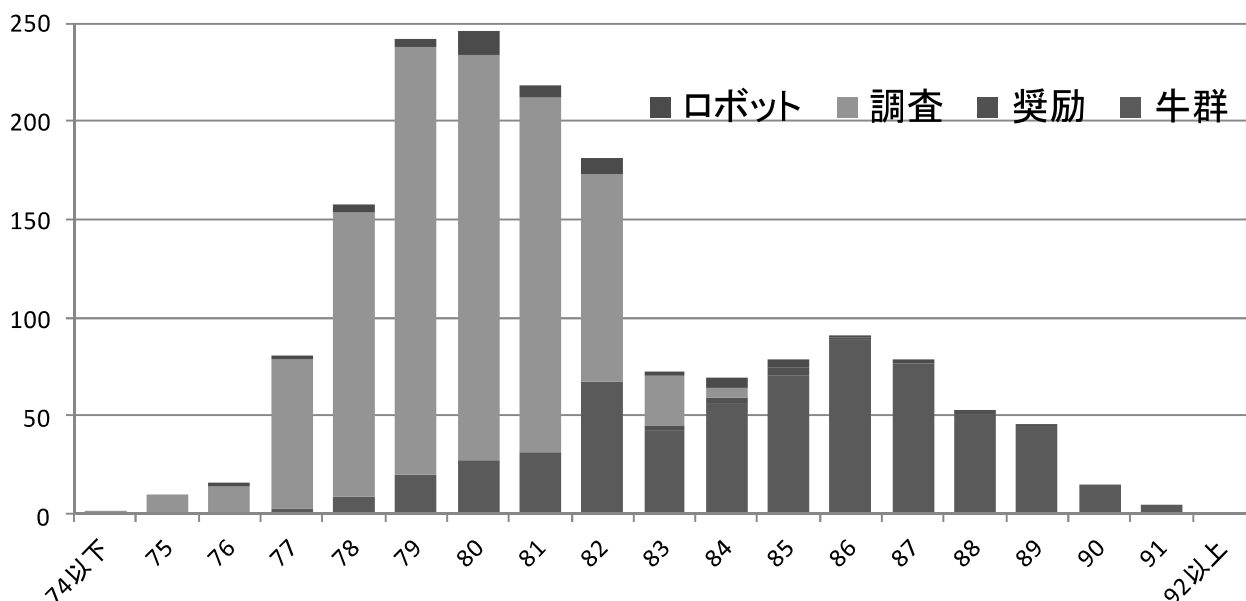
EXと何回評価されたかを示すE制度がスタートしてから4年目（29年開始）となり、皆様にも周知されてきました。今回は長命連産でなおかつ、優良な体型を維持されている優良牛2頭に対し、4回目となるEX評価をさせていただきました。

合志市の後藤勝牧場の「ウイナーメード・CH・エアロ・フィーバー」（9歳0ヶ月・父フィーバー）は5月に7産分娩。やや肩は緩くなっていますが、背腰は強く肢蹄は正確で鮮明、乳器は7産しても付着は強く後乳房の幅・形状に優れていたことから91点（乳器90点）と評価して4Eとなりました。

もう1頭は、合志市の松島太一牧場の「ハッピーライン・WM・ソフラン」（9歳7か月・父ソクラテス）7月に7産分娩。やや乳房が深くなってきてはいますが、体貌と骨格は正確で、崩れはありませんでした。前乳房の付着は強く、質の良い乳房を備え充実していることから90点（乳器89点）と評価して4Eとなりました。2頭ともに管理が行き届いた素晴らしい成牛でした。

他にも紹介したい優良牛が多数いましたが、長くなりますのでここまでとします。

図2 得点の分布



最後に

繰り返しとなりますが、コロナ禍で先行きの見えない不安が募る中、110農家を周り1,664頭の愛牛を評価させていただきました。お忙しい中、無理を言って通常より多くの調査をさせて頂いた皆様、前期の中止からいつもより多く受検してくださった審査農家の皆様、大変お世話になりました。

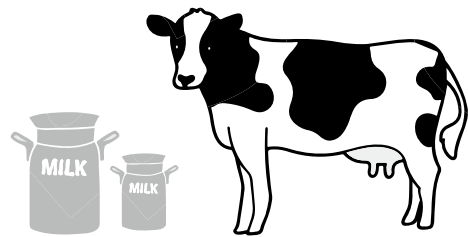
また、将来の酪農並び指導者の後継者となる期待の若者が日夜勉強している「菊池農業高校」、「南稜高校」並びに「熊本農業高校」では、審査に併せて牛の見方について勉強会を実施しました。短い時間ではありましたが非常に熱心に聞いていただき感謝いたします。牛を見る目が正確で、頼もしく感じま

した。今後も出来るだけ多くの優良牛を見て、審査眼に磨きをかけ、熊本県はもとより、日本の酪農発展に寄与して下さい。

本来であれば、昨年11月には第14回全共がお隣の宮崎県で開催され、それに向けて丹精込めて育てた愛牛を晴れの舞台で披露し、数多くの思い出を作る予定の方も多くいらっしゃったと思いますが、それもかなわぬ夢となりました。私も全共準備として元年10月から2年の11月まで宮崎市に駐在し、準備と後始末をする予定でしたが、6月には中止が決定となり、とても残念ではありましたが9ヵ月間の駐在にピリオドを打ち、7月には東京に戻りました。

今回は、全共出品に合わせて調整・分娩をさせていた牛も数多く見ました。九州で開催するから是非出品したかった、俺の代ではもうムリかな…と寂しそうに話されたご主人の言葉に心が痛みます。

年が明け新型コロナが再び猛威を振るっています。ワクチン接種も2月下旬から順次始まる様ですが、今後も目が離せない状況が続くと思います。酪農情勢では、酪農家戸数、飼養頭数の減少に伴い、全国的に生乳生産の減少に歯止めがかからない状況が続くと見込まれ、生乳生産基盤の弱体化の回避が喫緊の課題とされています。このような厳しい状況ではありますが、今後も、熊本県の酪農家一致団結し、益々の発展を期待すると共に、当協会の事業推進に今後ご協力を賜ります事をお願いし、まとまらない牛群審査結果報告といたします。最後に、お世話になりました多くの皆様に御礼申し上げます。これからも宜しく願いいたします。



全酪連初生牛預託事業のご案内

『仕事が多すぎて、子牛の面倒を十分に見てあげられないんだよなあ…』
『子牛の病気や治療が多くて困っているんだよなあ…』
こんな悩みをお持ちの酪農家の皆さん、全酪連の初生牛預託事業を利用
してみませんか？

【全酪連初生牛預託事業とは？】

皆様の乳用種初生牛(雌牛)を概ね生後3日齢～6日齢でお預かりし、
全酪連若齢預託熊本牧場にて6～8カ月齢まで哺乳・育成いたします。

※対象牛は、健康な乳用種初生牛(雌牛)です。

(肺炎、下痢や奇形などの疾病等のある子牛はお預かりできません。)

※哺育期間は、全酪連‘強化’哺育・育成体系で管理致します。



【全酪連若齢預託熊本牧場】

菊池市泗水町に位置し、哺育舎4棟、育成舎2棟堆肥舎、事務棟を備える牧場で、受入可能頭数は、月間90頭、年間1080頭。2017年5月より育成牛の受入を開始。全酪連が運営する育成牧場としては福島県矢吹町に次いで2番目に開設された牧場となります。

【初生牛預託事業費用等概要】

①哺乳期(受入日の翌日から60日間) 預託料950円(税抜)／日

②育成期(61日目から下牧日まで) 預託料700円(税抜)／日

(※ワクチン代は預託料に含まれています。)

【預託料目安(例)】

受入日から離乳日まで×預託料金950円／日＝57,000円

(入牧から60日間哺乳、60日間)

離乳日の翌日から下牧×預託料金700円／日＝84,000円

(61日以降180日齢までの場合、120日間)

その他諸経費 10,000円

事故積立金 1,000円

預託期間費用合計：約17万円 ※預託期間によって変わります。

※輸送については別途料金となります。

～牧場風景～



入牧の申込みについて

- 1) 事前に利用登録を行ってください。登録時に半年分の上牧予定をお聞きします。
以後、四半期（3ヶ月）毎に預託予定頭数をご確認させていただきます。
- 2) 入牧予定牛が生まれたら、預託牧場にFAXにて集畜依頼書を送付して下さい。
牧場担当者が集畜予定日を決定し、FAXを返信致します。

入牧の対象牛

- 1) 概ね3日齢～6日齢の乳用雌初生牛で、健康なもの。
(虚弱子牛、肺炎・下痢等の疾病や奇形等のある子牛はお預かりできません。)
- 2) 初乳を給与した子牛
- 3) 生後すぐにコキシジウム剤（バイコックス等）と肺炎予防剤（ミコチル等）を投与した子牛

若齢預託が終了した牛につきましては、引続き北海道での販売預託事業への上牧をご検討ください。

お問い合わせは

らくのうマザーズ 素畜課 096-388-3564
全酪連福岡支所 畜産課 092-431-3447

手づくり体験館



2・3月 季節メニュー

生チョコ作り



開催期間/2月
所要時間/（作）約50分+
（冷）約40分
料 金/お一人 1,200円
※2名様からの受付

※お願い※
体験教室へは、マスクの着用をしている方のみのご入室となります。
また、感染防止の為、見学者・乳幼児様等マスクの着用が難しい方のご入室は出来ません。皆様のご理解とご協力をお願いします。

フォンダン ショコラ



開催期間/3月
所要時間/（作）約30分+
（焼）約30分
料 金/お一人 900円
※2名様からの受付

新型コロナウイルス感染防止の為、下記教室の開催となります。

※2月～3月の時間割（ ）は所要時間です。

11:00	バターづくり (約50分)	10:30	季節メニュー (お菓子作り下ごし)
12:30	ストリングチーズ (約50分)	12:45	季節メニュー (お菓子作り下ごし)
14:00	バターづくり (約50分)	15:15	季節メニュー (お菓子作り下ごし)
15:30	ストリングチーズ (約50分)		

お教室7組限定！※15分前までの受付
※定員となり次第受付を終了とさせていただきます。

●体験料金●

メニュー	お一人様
バターづくり	600円
ストリングチーズづくり	1200円

料理シミュレーション マガズキッチン



料金
*大人..... 1,600円
*学生..... 1,300円
*シニア..... 1,200円
(中学生・シニアは要証明)
*小学生..... 900円
*3歳～小学生未満
.....400円

バイキングレストランでは「お鍋」が登場中☆
日替わりでお鍋の内容が変わりますよ♪



ボウザーゴリーの子やまが
元気な男の子と女の子を産みました



動物の赤ちゃん続々誕生

五年の天竺丸
ブラウンスイスの
子牛が産まれました



子やまも続々誕生中



入場にあたってのお願い

- *発熱や咳、味覚や嗅覚障害の症状がある方のご入園はご遠慮下さい。
- *マスクの着用、咳エチケット等のご協力をお願いします。
- *ご入場の際、検温を実施しておりますのでご協力をお願いします。
- *こまめな手洗い、うがい、アルコール手指消毒のご協力をお願いします。
- *ご入場中も、お客様同士の距離を空けて下さい。
- *混雑状況に応じて、施設内の入場制限を実施する場合があります。



乳業だより

キャンペーン応募写真！

10～11月に実施した「LINE公式アカウント撮って送ろうキャンペーン」へのご応募ありがとうございました。たくさんのご応募をいただき、今回はその中でも特別にお洒落な写真や工夫して撮って頂いた写真をご紹介します！Instagram公式アカウントでも紹介していきますので是非のぞいてみてください。



次回キャンペーン開催時には、是非「映える」写真に挑戦してみてくださいね。